

学習指導要領		都立砂川高校 学カスタンダード
A 話すこと・聞くこと	ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。	ア 根拠を示しながら、できるだけ多角的な視点で自分の考えを話すことができるようになる。
	イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。	イ 全体の前で適切な態度（正面を向く、聞いている人の顔を見る）で話すことができるようになる。 発表している人の顔を見て話を聞く態度を身に付ける。
	ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。	ウ 話し相手に正対して話し合う態度を身に付ける。
	エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	エ 自分の話し方を振り返ったり、話し相手の良い部分を指摘したりできるようになる。
B 書くこと	ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。	ア 原稿用紙の使い方を理解して文章を書けるようになる。
	イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。	イ 段落構成（序論－本論－結論）を考えて 400 字程度の文章を書けるようになる。
	ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。	ウ 表現の工夫（比喩・具体例）を意識して文章を書けるようになる。

学習指導要領		都立砂川高校 学カスタンダード
C 読 む こ と	エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	エ 表現の工夫に注意して優れた文章を読み、文章を書く際に参考とする態度を身に付ける。
	ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。	ア 様々な表現・特色に関心を持つ。
	イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。	イ 文章の内容を的確に読み取り、必要に応じて、文章について述べる。
	ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。	ウ 文章に描かれた人物の特徴が分かり、情景や心情を読み取る。
	エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。	エ 文章の構成の仕方に関心を持つ。
	オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。	オ 様々な文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。
伝		

学習指導要領		都立砂川高校 学カスタンダード
<p>統 的 な 言 語 文 化 と 国 語 の 特 質 に 関 す る 事 項</p>	<p>ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p> <p>イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。</p> <p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p> <p>ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p>	<p>ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 月の異名や十二支を漢字で書けるようになる。</p> <p>(イ) 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直せるようになる。 用言の活用を理解し、活用表を書けるようになる。 漢文を返り点に従って訓読できるようになる。</p> <p>イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 和歌の形式(五、七、五、七、七)や修辭法を知り、正しく音読する。</p> <p>(イ) 主語、述語、修飾語の意味を理解する。</p> <p>ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字のうち 1607 字を学習し、その大体の読み書きができるようになる。</p>

